

翌檜祭に参加しました

9月8日（金曜日）と9日（土曜日）、分教室は新栄高校の文化祭である翌檜祭（あすなろさい）に参加しました。台風13号の影響も心配されましたが、無事に2日間とも予定通り行われました。

翌檜祭が保護者に公開された9日には、分教室の保護者が40名、新栄高校の保護者や事前申し込みした中学校3年生が合わせて1200名が来校しました。

分教室はラウンジに『みどりの種』と名付けたショップを開きました。7月に学習した「多文化共生」について、夏休みにひとりひとり自分でテーマを決めて調べた、様々な「多文化」の発表や、昨年から学習しているSDGsについての紹介、『SDGsの木』に花を咲かせるワークショップ、作業で生徒が作った手工芸品やハーブの苗の販売を行いました。

『みどりの種』にはいつもお客様がいて、生徒の説明を聞いたり、商品を選んだりする姿が見られました。

学年ごとに販売や説明を担当し、担当以外の時間は、高校の教室をまわってさまざまなブースを訪れ、買い物をしたり見学をしたりして楽しみました。疲れたけれど、刺激的で充実した2日間になりました。

